

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

嬉野市議会議員

田中政司

実施月日	令和5年2月13日(月)		
実施時間	13時~17時		
調査先	茨城県境町役場及び自動運転遠隔監視センター		
調査所在	茨城県猿島郡境町391-1		
調査の目的	境町が進める地方創生(自動運転バスの運行について)		
調査先担当者	境町町長 橋本正裕氏		
内容・結果等	<p>視察の目的:市では国の未来技術地域実装事業を活用し、新幹線嬉野温泉駅から嬉野の商店街までの輸送手段として、自動運転による車両の導入が計画されている。そこで、いち早く自動運転バスを導入し、実際に運行されている茨城県境町への視察を行った。</p> <p>内容:自動運転バスの運行については、5年後の未来に「誰もが生活の足に困らない町」という目標を掲げ、2020年1月から町民などへの試乗会を実施し、2020年11月から3台の自動運転バスを導入し、町の中心部の主要拠点を回る第1ルートで運行が開始されていた。その後2021年8月には、高速バスターミナルと街中を結ぶ第2ルートでも運行され土日の運行もされている。運営については、国からの補助金とふるさと納税を活用し、指定管理での運営となっていた。効果としては、町民からは、買い物に行けるようになった、塾の送り迎えがいらなくなったなど好評を得ており、テレビ放映やメディアに取り上げられたことで、視察や来訪者が増え7億程度の経済効果を生んでいるとのことであった。</p> <p>感想:境町の自動運転バスが走行している路線は、比較的交通量が少ない路線であり、嬉野で想定されている駅から町の中心街では、交差点や交通量の問題などを考えれば、現段階ではかなりハードルが高い感じであった。今回は他の自治体からの視察もあり合同での研修となったため、自動運転バスに特化した研修とはならず時間が足りなかったのが残念であったが、境町のふるさと納税を財源にした企業的感觉での街づくりについて話を聞いたのは有意義であった。</p>		
上記活動に要した経費	経費の内容	支 払 先	金 額 (円)
	旅費	祐徳旅行株式会社(宿泊パック)	41,350
	宿泊費		
	交通費	羽田空港から東京駅 モノレール・JR(往復) 東京駅から茨城県境町 高速バス(往復)	7,320
		合 計	

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること